

事務事業名 障害児保育事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：306

施策：	01	子育て支援の推進	財務コード	01030205-10-241
基本事業：	01	幼児教育・保育の充実	担当部	こども部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	こども政策課
			担当係	保育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成22年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
障がいを持つ児童を保育するために加配保育士を配置した私立保育所 3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） 障がい児保育の推進を図り、保育サービスの充実に図る。			（事業内容） 障がいを持つ児童を保育するために加配保育士を配置した保育所等に対して補助金を交付する。 （補助金額） (1) 児童1人に対して加配保育士1人の場合 7,200円×21日×職員の配置月数にて算出 (2) 児童2人に対して加配保育士1人の場合 7,200円×21日×職員の配置月数に2分の1を乗じて算出 【根拠法令】 筑紫野市障害児保育事業費補助金交付要綱 【補助金】 なし 市単独事業						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
配置した保育士数		人	9	12	10	10			10
通所することができる障がい児数		人	9	12	10	10			10
5. コスト									
事業費		計	千円	15,271	19,547	25,402	25,402		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	0		
一般	千円	15,271	19,547	25,402	25,402				
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.3				
正職員人件費		千円	1,563	1,605	2,514				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	16,834	21,152	27,916	25,402			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		（状況）加配保育士を必要とする障がいのある児童数は横ばいで推移していますが、障がいのある児童に関する相談が増加傾向にあります。 （原因）加配するための保育士を確保が必要となる中、保育士の人材不足な状況にあり、保育士確保が困難な状況があります。 （検討）障がいのある児童に関する相談が増加する中、保育士人材確保の対策に継続して取り組みます。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
障がいを持つ児童は、療育施設等に通所している場合もあるが、預かり時間が短時間であることが多く、保育所と併用する傾向が高い。			補助の基準としている市臨時保育士の賃金改定にあわせ、平成30年度から補助単価の見直しを行った。 7,200円×21日×在籍月数（×1/2）						